

岡垣のため池③

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

明治時代の岡垣には、約340町歩（約340ヘクタール）の農地を灌漑するための大小98のため池があった。これらのため池の多くは、江戸時代に農民の力によって造られたものである。

●江戸時代初期に完成したため池（表1）

鍋田ため池が造られてから20年

表1

名称	所在地	造成年
鍋田	山田村	寛永18年(1641)
三本松	吉木村	寛文2年(1662)
長谷	野間村	寛文2年(1662)
裏ノ谷	高倉村	寛文2年(1662)
猪堀	高倉村	寛文2年(1662)
永沼	吉木村	寛文3年(1663)
二股	吉木村	寛文4年(1664)
門田	吉木村	寛文5年(1665)
立田	高倉村	寛文5年(1665)
花木	高倉村	寛文5年(1665)

を經過した寛文年間に、吉木村、野間村、高倉村に集中的にため池が完成している。工事に従事した農民の負担は計り知れないものがあつたと推察される。

●灌漑面積が大きいため池（表2）

10町歩（約10ヘクタール）以上の面積を灌漑することが可能なため池は、5カ所である。また、灌

表2

名称	所在地	灌漑面積
門田	吉木村	92町6反
瀬々町	野間村	13町4反
薬師谷	手野村	12町3畝
山ノ後	山田村	11町
和田	手野村	10町4反1畝

漑面積が1反（約10アール）未満の小規模のため池が2カ所存在していた。

●門田ため池

吉木村（吉木区）にあり、満水面積が5町歩（約5ヘクタール）の広大なため池である。この池は吉木村の管理であるが、三吉村、松原村の両村の農業用水にもなっている。灌漑面積では、岡垣で一番大きなため池である。

●山ノ後ため池

山田村（山田区）にあり、門田ため池と同じ5町歩の満水面積があり、山田村の管理であるが、黒山村の農業用水にもなっている。現在は、「一丁ため池」と呼ばれているため池で、周囲を遊歩道として整備されている。「一丁」という呼称がいつの頃から

満水面積が大きいため池

名称	所在地	満水面積
門田	吉木村	5町
山ノ後	山田村	5町
鍋田	山田村	1町8反
瀬々町	野間村	9反5畝
永沼	吉木村	8反
二股	吉木村	8反



▲遊歩道整備前の一丁ため池（山ノ後堤）

ら使用されたかは不明であるが、「一丁」と呼ばれた時期もあった。岡垣町には、令和4（2022）年3月末時点で、92の農業用ため池がある。ため池は、汐入川や矢矧川などの河川からの取水とともに、農業用水として必要不可欠なものである。